



平和新聞 東京版

2021年7月15日 東京版第110号

1950年12月16日 第三種郵便物認可 (日本平和委員会)

東京版発行 東京平和委員会

〒170-0005 豊島区南大塚2-33-10東京労働会館5階

電話03-5927-1485 Fax03-5927-1487

E-mail tokyoheiwaikai@peace-21.jp

横田基地への CV-22オスプレイの追加配備強行に抗議

6月29日、米陸軍横浜ノース・ドック(瑞穂埠頭・横浜市神奈川区)に、CV-22オスプレイが陸揚げされているのを在日米軍の動きを追跡している「リムピース」がキャッチしました。

監視をしていたリムピースHPを見ると、横浜ノース・ドックに入港した自動車運搬船グリーン・レイクから、オスプレイ1機が翼を折りたたんだ状態で陸揚げされ、すぐに整備が行われ港に駐機していました。30日には燃料が給油され、港の端に移動しました。

この時に機体ナンバー「USAF0046」が確認され、横田基地に配備されているCV-22オスプレイの追加機であることがわかりました。

横田基地を抱える福生市は、オスプレイ搬入の報道を受け、防衛省(北関東防衛局)に問い合わせたところ、7月2日に「通常の運用の一環として、横浜ノース・ドックにおいて米軍所属の航空機の搬入・搬出をしているものであるが、その詳細については米側の運用につき回答できない。」と米側の見解を伝えてい

ました。横田基地周辺の自治体には、北関東防衛局からの連絡はありませんでした。

7月5日には、神奈川県羽村平和委員会の高橋美枝子会長は赤旗新聞の取材に「10機への増強が突然始まったことに驚いています。米軍が横田基地を拠点にインド太平洋地域での軍事態勢を強化する狙いを強く感じます。青森県の小川原湖上空でCV-22の低空飛行が報道されましたが、横田周辺では日常的に危険な訓練が行われ、全国に拡大されるようになっています。横田基地の危険な実態を知らせ、強化反対の運動を広げたい」と話しています。



を行いました。横田基地のドックに駐機しているオスプレイが、追加配備であれば重大問題と防衛省に迫り「無通告の配備はするな」と強く抗議しました。

しかし、6日11時23分に横田基地に無通告で飛来していたことが羽村平和委員会の監視行動で分かりました。横田基地周辺自治体には、北関東防衛局からの連絡はありませんでした。

羽村平和委員会の高橋美枝子会長は赤旗新聞の取材に「10機への増強が突然始まったことに驚いています。米軍が横田基地を拠点にインド太平洋地域での軍事態勢を強化する狙いを強く感じます。青森県の小川原湖上空でCV-22の低空飛行が報道されましたが、横田周辺では日常的に危険な訓練が行われ、全国に拡大されるようになっています。横田基地の危険な実態を知らせ、強化反対の運動を広げたい」と話しています。

横田基地に配備されているCV-22オスプレイは、米空軍特殊作戦機であり、2018年に5機が配備され、2024年ごろまでに10機への増強が狙われ、今回は最初の1機になります。



5機の配備でさえ、低空飛行や夜間の飛行など、騒音をまきちらして激しい訓練が行われ、被害は拡大されています。先日も山形空港に緊急着陸するなど、事故率が高く危険です。CV-22オスプレイの10機体制は阻止しなければなりません。

いま、横田基地では、10機増強にむけ22年完成予定で6機分の駐機場の工事が行われ、シミュレーター施設や整備格納庫の建設事業も始まっています。完成すればまた機体が運ばれてきます。なし崩しの配備強行は許せません。早急に、抗議行動を行います。

CV-22オスプレイ 青森・小川原湖で無法訓練

東京・横田基地に配備されているCV-22オスプレ

イが、6月30日と7月1日の夕方、1時間以上にわたる青森県東北町の小川原湖の上空を低空で飛行し、湖面ぎりぎりまで高度を下げて飛んだり、上空を繰り返して旋回したりし、機体の下方で人が上下するなどの訓練が行われていました。

地元小川原湖漁協の組合員がウナギのはえ縄、刺し網漁を操業する時間帯でしたが、漁協に対し、訓練の予告はありませんでした。

1日は午後6時ごろ、2機が湖の上空に出現し、このうち1機は、エンジンを垂直にし、ヘリモードでホバリングをし、人を降下したり、引き上げたりしていました。もう1機は、エンジンを水平にした固定翼モ



ドで、ホバリング中の機体の周辺を警戒するかのよう

東北防衛局によると、三沢基地には19年夏までの1

地元の小川原湖漁協は5日、理事会を開き、三沢防

三者連名で 密告 外務大臣に抗議書

「CV-22オスプレイの小川原湖での無法な訓練の中

今回、民間地である小川原湖で、無通告で超低空飛

です。小川原湖漁協組合長は「低空飛行の影響で船が転覆す

三沢基地周辺町内連合会会長も「絶対にあつてはな

このような民間地を勝手に使つて米軍が訓練を行う

ゆる場所で、米軍が無法で危険な訓練を繰り返され

私たちは政府に対し、▽小川原湖での米軍訓練の実

の超低空飛行訓練であり、低空飛行訓練に関する19

人類と地球の未来のために 核兵器のない世界を！ 原水爆禁止2021年世界大会東京から1000人のオンライン参加を

ことしの世界大会は、核兵器禁止条約が発効してはじめての大会です。

- I、被爆者とともに、核兵器のない平和で公正な世界をー禁止条約に参加する
- II、沖繩連帯・外国軍事基地撤去
- III、枯葉剤被害60年・被害者との連帯
- IV、非核・平和のアジアと運動の役割
- V、考えよう！核兵器・経済・環境

世界大会の主な日程

- 【現地企画】原水爆禁止2021年世界大会・ヒバクシャとの連帯のつどい広島
- 【現地企画】原水爆禁止2021年世界大会・ヒバクシャとの連帯のつどい長崎
- 【現地企画】原水爆禁止2021年世界大会・ナガサキデー集会

森がわがランセット20

最新刊 編集・発行II 安保 破棄中央実行委員会

「米中対決」と日米安保 アメリカ言いなりの菅「大軍拡」を斬る

考え方」を掲載。

〜 目次 〜

- (1) バイデン・菅ー日米首脳会談の真実
- (2) 日本への軍事分担と菅「大軍拡」政治
- (3) 米軍の「殴り込み」戦略をささえる米軍基地の大増強
- (4) 底なしの「思いやり予算」増額要求

- (1) インド太平洋戦略の危険と矛盾
- (2) インド太平洋地域の軍事分担と自衛隊大増強
- (3) 「米中対決」ではなく、平和・友好の日本とアジアを
- (4) 底なしの「思いやり予算」増額要求

◇A5版64頁、1冊500円。割引頒価…5冊以上

※送料別 5冊まで100円、6冊〜10冊200円、10冊以上450円

